

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 AAIC開催事業費（R8分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部文化創造課 文化創造係
 電話番号：058-272-1111（内3123）
 E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 補正要求額 76,878 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要 求 額	76,878	38,439	0	0	0	0	0	0	38,439
決 定 額	76,878	38,439	0	0	0	0	0	0	38,439

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

県では新たな才能の発掘と育成、アートに関わる人材の育成とネットワークづくり、新たな形のアートの鑑賞機会を提供するため、全国規模の現代アートの公募展「Art Award IN THE CUBE」を開催している。

2023年4月22日(土)～6月18日(日)に第3回として開催された「Art Award IN THE CUBE 2023」(テーマ：「リアル」のゆくえ)では、県内外から総勢6万人を超える来場者にお越しいただき、若い世代や子連れファミリーなど、普段美術館に足を運ばない層に多様なアート表現に触れる機会を提供することができた。

【Art Award IN THE CUBE (AAIC) の概要】

- ・主 催：AAIC実行委員会、岐阜県
- ・開 催 年：トリエンナーレ方式（3年に1回）

※第1回は2017年、第2回は2020年、第3回は2023年に開催
- ・応募規定：キューブ空間〔幅4.8m×奥行4.8m×高さ3.6m〕に、決められたテーマを解釈・表現する作品を国内外から募集（分野・技法・手法は問わない）

(2) 事業内容

第4回となる展覧会「Art Award IN THE CUBE 2027」の開催に向けた検討、開催準備を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県の文化振興の主要プロジェクトとして実施するものであり、全額県負担とする。
(地域未来交付金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	76,878	実行委員会負担金
合計	76,878	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

本負担金を受けて「Art Award IN THE CUBE 実行委員会」が事業を実施する。
将来的に、県内の幅広い層の参画を得ること、各種協賛金を受領することも想定して、
実行委員会を継続し事業を実施する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

第4回となる展覧会「Art Award IN THE CUBE 2027」の開催に向けた検討、開催準備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R元)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
① 応募総数	710件	574件	-	-	580件	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none">○「Art Award IN THE CUBE 2023」作品受付（2021年12月～2022年5月）の結果、国内外から574件（うち海外からは香港、豪、シンガポール、米、独など11の国と地域から31件）の応募が集まった。○応募のあった574件の企画書による一次審査会（2022年9月開催）を経て入選作品14点を選考。その後、入選作品の発表、作品の事前制作、会場設営（県美術館へのキューブの制作・設営、作品設置）を実施。○2023年4月の開幕に向け、展覧会の認知度・関心を高め、来場者数増につなげるため、各種PRイベントや美術系ウェブサイト・専門誌などによる広報、各種SNSでの周知を実施。
令和5年度	<ul style="list-style-type: none">○「Art Award IN THE CUBE 2023」を開催し、61,763人（会期50日間、1日平均1,235人）が来館。○次期開催に向けて各種検討を開始。
令和6年度	<ul style="list-style-type: none">○「Art Award IN THE CUBE 2027」の開催に向けて、有識者で構成されている「清流の国ぎふ芸術祭運営委員会」及び「AAIC企画委員会」において、目的、テーマ、開催場所等の検討を行った（5回開催）。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	県内の文化振興につながるため、事業の必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	第3回となる「Art Award IN THE CUBE 2023」は、応募総数574件、来場者数は過去最高の延べ61,763人となった。若い世代や子連れファミリーなど、普段美術館に足を運ばない層の来場があった。 また、展覧会としても、入選作家、審査員、美術関係者から高い評価を得ている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	ボランティアスタッフの活用など、展覧会を支える取組みも成果があつた。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

申込者の管理、審査の効率化が必要。

また、今後、長期的な観点から事業の検証・総括・見直しが必要。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

申込者の管理、審査の効率化を図るために、これまでの紙媒体を前提とした方法ではなく、システムを活用した運営方法に変更する。

申込者の増加を図るために、前回の申込結果（アンケート）等を活用した、効果的な広報を行う。